

里地通信 1&2月号

発行：里地ネットワーク事務局 〒105-0003 東京都港区西新橋1-17-4西新橋Y Kビル6階（財）水と緑の惑星保全機構内
 電話：03-3500-3559 FAX：03-3500-3841 e-mail：QWS04137@nifty.ne.jp ホームページ：http://member.nifty.ne.jp/satochi/

会員紹介

めざせ、自然と土地に学べる地球人。 そして手づくりエコトピア 地球デザインスクール

地球デザインスクール事務局 篁 雄巳

京都の北、天橋立のそば、144haの府立公園予定地。自然がたっぷりあるここにあるのが地球デザインスクールです。

元々ここには、棚田や里山が広がっていました。90年、京都府と大手企業による丹後リゾート公園としての整備計画がありましたが、バブル崩壊が起こり、計画の見直しを経て、丹後の自然・文化・歴史資源の活用に重点を置いた『手づくりリゾート』という発想の下、新しいスタートを切りました。実際に地球デザインスクールという名称で活動がはじまったのは、97年8月に京都府と宮津市、パートナーとして企画に加わる大学研究室や企業の代表がつくる推進運営組織による共同運営体制が出来てからです。今年で三年目の活動に入っています。

『手づくりと参加』の大原則

ここでは、『自然との共生』を模索するために造成は最小限に抑え、出来る限りの自然を残すようにしています。また、『知的・文化的リゾート』を実現するためにソフト面からもエコロジー追求の『手づくりと参加』を大原則としています。

大原則にのっとった基本計画、土地利用計画案はラフなものであり、『自然に学べる地球人』を育てる目



標と『参加と体験、適正技術による環境共生』を理念としています。敷地内は『守るべきゾーン』と『自然共生ゾーン』に分けられ、廃校となった校舎をほとんどそのまま『地球デザインスクール』の看板を挙げゼミナールハウス兼宿泊所としています。

全国の知恵を集めた教室の開催

情報はインターネットなどを通じて広く市民に公開し、知恵や参加を募っています。こうして集まった参加者は全国各地のデザイナーや建築家・学生さんなどものづくりに関心のある人がいます。この中から活動的な参加者が講師となり、教室が開かれます。テーマによっては外からの講師を呼ぶこともあります。そしてある教室では講師だった人も次回からは生徒として仲間となります。今年度は26(1月現在)の教室や事業が行われています。所管する京都府や宮津市が派遣する数人の職員によって、知恵や力を外界から取り入れ、投入する資金も出来るだけ少なくなるように努めています。



99.7.29~30 川に流れる教室



99.8.6~9.5 土の建築教室

このような運営には、時間はかかりますが、参加者が手を動かしたもののだけ、形になっていきます。手づくりだからこそ「したいこと」と「できること」の違いに気づき、適正技術を探り当て、したいことを少しずつ可能にしていくことができます。参加者は童心に帰って、手づくりに汗をかき、頭を絞って試行錯誤しながら教室に参加しています。

この体験を通じて、自分に出来るエコロジカルな技

術を身につけたい人のネットワークは広がっていきます。

また、近くの漁港に買い出しに行くなど、食材や作り方は地元のものを取り入れるようにしています。昨年、一昨年と地元の人と一緒に『波見フェスタ』という祭りを開き、大いに盛り上がりました。地球デザインスクールは、外部と地元が一緒になって地域自立型の手づくりエコトピアを目指しています。

環境施策への新しい視野

地球デザインスクールは、公共事業の方式を見直したからこそできた取り組みでありますし、さらには行政が主体となっているためにできたことかもしれません。大規模なリゾート開発を期待していた地元からの意見もありましたが、この取り組みを通じて新たな賑わいができつつあります。この取り組みは公共事業中心の地域振興に大きな一石を投じたものであると思います。

地元住民と行政、市民との関係の可能性が広がり、ともに汗をかく中で、適正技術だけでなく新たな信頼関係が築かれている。これは参加のあり方だけでなく、今後の環境施策にも新しい視野を開いているように思います。実際に破綻したリゾート計画を抱える自治体からの視察も多くあります。

広大な自然フィールドでやってみたいことがある人。土地の暮らしの知恵を学びたい人。等身大のエコロジカル技術をつくりだしたい人。自然の木や石を活かして何かをつくりたい人。いままでの経験や趣味を自然の中に活かしたい人。夜空の暗さ全国2位(環境庁調査)の宮津で星空を見ながらただ寝そべっていた人も。一緒に自然と土地と学んでみませんか。地球デザインスクールはさまざまな体験教室を用意して待っています。

地球デザインスクール事務局

TEL : 075-417-3147 FAX : 075-431-8376

現地セミナーハウス

TEL / FAX : 0772-28-9009

URL : <http://www02.so-net.ne.jp/earth-d/>

里地ネットワーク報告 エコ・テク・レビュー・プロジェクト 始まる

今日、国内外には、様々な環境保全型技術（エコ・テクノロジー）が生まれ育っています。政府の「ミレニアム・プロジェクト」でも、環境分野の技術開発は重点分野に挙げられており、今後ますます多様な技術が生まれてきます。エコ・テクノロジーの中には、自然エネルギーやリサイクル、近自然工法、環境保全型農業など、循環型持続型の地域づくりにも活用できそうなものいろいろあります。

そこで、里地で使えるエコ・テクノロジーに関する情報を収集し、発信していく「里地のエコ・テク・レビュー・プロジェクト」をスタートしました。

文明のあり方を問う大問題、「地球温暖化防止」を手始めに、今後、自然保全、水質保全...といった分野にも広がっていきたくと考えています。

まずは、12月から「里地地域における地球温暖化対策調査」（環境庁委託事業）を始めましたので、内容をご紹介します。

どんなことを調べるの？

地球温暖化対策というと、都市や工場での対策が思い浮かびますが、実は、風力や温泉熱などの自然エネルギー、木屑・家畜糞などのバイオマス資源の活用、さらに、CO₂吸収源としての森林・里山保全など、里地ならではの対策メニューが豊富にあります。また、雪室（雪の冷熱で農作物を保存する倉庫）水車など、地域に根ざした生活文化や伝統的な技術の中にも活用できるものがあります。

ハイテク、ローテク合わせて、こうした地球温暖化防止に効果のある対策の実践事例を100～200件程度ピックアップ。CO₂等の削減効果、導入コストやその後の管理運営コスト、技術の評価や管理運営上の課題などを調査します。また、合わせて、技術保有企業についてもリストアップします。

（表1）里地地域における地球温暖化対策メニュー

分類	例示
自然エネルギー	太陽光・熱、風力、小水力、雪冷熱、温泉熱、地熱などの熱・電気・動力利用
バイオマスエネルギー	家畜糞等農業系廃棄物、木質系廃棄物の熱・電気利用
適正な物質循環の確保	域産域省、バイオマスリサイクル、木材資源等の有効利用、適量生産システム（注文生産、工芸的生産）
運輸・交通システム改革	バイオディーゼル、共用自転車・自動車
森林・里山の保全管理	植林活動、里山保全活動、緑化
ライフスタイル変革	省エネ・省資源、伝統建築の知恵、エコマネー、

結果はどうするの？

里地地域における地球温暖化対策の先進事例集としてまとめ、地方公共団体や地域のN G Oの方々に配布します。また、技術の事例や企業情報をデータベースにまとめ、インターネットを通じて検索できるようにしていきたいと考えています。

さらに、里地ネットワークでは、現在、地域の新エネルギービジョンの作成をお手伝いしていますが、こうした地域でも技術・対策の導入を進め、具体的な事業の形にしていきたいと思えます。

スケジュールは？

昨年12月7日に、第1回の「里地地域における地球温暖化対策調査検討会」(座長：内藤正明京都大学教授)を開催しました。まずは、里地地域の中核産業である「農林業」の地球温暖化対策について勉強...ということで、農林水産省大臣官房総務課環境対策室の田中監査官、農産園芸局環境保全型農業推進室の伊藤室長、林野庁研究普及課の赤堀調整官からヒアリングしました。

今回は、2月29日に、滋賀県愛東町(菜の花を栽培し、食用油を生産。廃油を回収して精製し、公用車の燃料として使用する「菜の花エコ・プロジェクト」を実施中) 岩手県湯田町(雪冷熱、温泉熱を活用した農業を展開中)からヒアリングするとともに、事例集について検討します。

なお、調査報告書は4月頃に完成予定です。

平成12年度・会員継続のお願い

里地ネットワークの活動に日頃よりご支援いただきましてありがとうございます。早いもので、設立から2年が経とうとしております。今年度も、皆さんからのたくさんのご協力のもと、様々な取り組みをしてきました。今年度の活動報告等、通信やホームページを使ってご紹介をしてきましたが、事業といたしましては

- ・(財)イオングループ環境財団との里山保全活動
- ・三重県自治会館組合との職員研修
- ・岩手県湯田町との地域新エネルギービジョン作成
- ・里地連続セミナーの開催
- ・熊本県・水俣市との「水俣グリーンツーリズム」の企画
- ・(株)みどり総合研究所(旧国際航業(株))との「新田園生活のすすめ」等を中心に各種講演会やセミナーのお手伝い等もさせていただきました。

次号にてその内容報告をしたいと考えております。また、来年度以降の事業予定もご報告し、事業パートナーの募集もいたします。このような活動を引き続きご支援下さる方に会員の継続をお願いいたします。団体会員に関しましては、次号にて請求書も同封させていただきますので、来年度もよろしく願いいたします。個人会員については、請求書の発行をいたしません、4月末日までにお振り込みをお願いいたします。

年会費：正会員(団体会員)

営利法人

従業員1000人以上又は売上げ100億円以上:10万円 従業員100人以上又は売上げ10億円以上:5万円

従業員10人以上又は売上げ1億円以上:3万円 従業員10人未満又は売上げ1億円未満:2万円

地方自治体:2万円 非営利団体:1万円

年会費:準会員(個人会員) 5千円

振込先: 第一勧業銀行 虎ノ門支店 普通 2533241 (財)水と緑の惑星保全機構

里山保全活動イベントご案内

(財)イオングループ財団と里地ネットワークでは平成11年度から3年間、里地・里山保全活動を開始しました。全国10カ所以上で異なるテーマや手法を用いた活動を行うことで、各地の草の根活動に弾みをつけることを目的としています。その第1回目の活動は、昨年8月に秋田県象潟町と鳥海山にブナを植える会、地元漁師、農民、市民とともに、神奈川県横浜自然観察の森のチーフレンジャー、鎌倉市の青空保育のメンバー協力を得て、紙芝居づくりのワークショップと上演会を行いました。ワークショップを通じた中核メンバーの拡大技法の取り組みと、上演による活動参加者への呼びかけ技法を学びました。

2回目は愛知県美浜町。2月12日には、備長炭を焼く窯の設置場所の選定と焔入れ式、焔づくりの説明会を行います(同封のチラシをご参照下さい)。3回目は島根県太田市です。

また、2001年度まで行われる本事業で、一緒に里地・里山保全活動を行う地域を全国で募集しています。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

2000年企画「21世紀に伝えたい三瓶の草原維持のために」

放牧と野焼きを皆で応援し火入れに参加しよう
放牧牛を食べ三瓶の畜産を共に育もう会
スライドを見ながら語り合う会のお知らせ

三瓶山の緑なすじゅうたん草花が、放牧牛とともによみがえってきました。三瓶の農業を支え、文化を育み、市民に憩いの場を提供してきた三瓶の草原。この草原を維持管理するためには、放牧と共に欠かせない春の火入れ。緑と水の連絡会議では、大田市とのパートナーシップのもと、平成8年から市民ボランティアと共にこの火入れにかかわってきました。今年は2000年企画として、お子さんからご年配の方、農家の方、都市住民、より多くの皆さんに、草原管理について理解をしていただこうと紙芝居作り、三瓶の牛肉を食べる会、フォーラム、そして火入れとワクワクするような企画を計画しました。

「草原に吹く風の心地よさ」を皆さんにおわけしたい。そんな思いで、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

スケジュール

- | | | |
|-------|---------------------|----------------------------|
| 3月19日 | A M10:00 ~ P M 3:00 | 紙芝居作り |
| 20日 | A M10:00 ~ P M 3:00 | 紙芝居作り |
| 21日 | P M 2:30 ~ | 21世紀に残したい三瓶山を
考えようフォーラム |
| | P M 5:30 ~ P M 7:00 | 三瓶の牛肉を食べよう会 |
| 22日 | A M10:00 ~ | 三瓶山西の原火入れ |

紙芝居作り

ところ：国民宿舎「さんべ荘」会議室

島根県大田市三瓶町志学

内容：数人のグループに分かれ、三瓶の魅力について語り合い、ストーリーの展開、紙芝居作りに発展させていく。

募集対象：小学校5年生以上20名程度

準備品：絵の具、クレヨンなど手持ちの絵画用品

「21世紀に残したい三瓶山を 考えてみよう」フォーラム

ところ：同上

内容：「美しい三瓶の姿」スライドショー 伊藤秀三氏（長崎大学名誉教授）／「自然に聴く旅 エコツアーリズム」スライドショー 瀬田信哉氏（（財）自然公園園美化管理財団専務理事）／「21世紀に残したい三瓶山を考えよう」司会 高橋佳孝氏（緑と水の連絡会議事務局長）

募集対象：22日の火入れ参加者、および三瓶に関心のある方 50人程度

三瓶の牛肉を食べよう会

ところ：同上

内容：三瓶の草原で育った健康な牛肉をワイワイやりながら味わう。

募集対象：フォーラム参加者、火入れ参加者、三瓶の放牧牛の味見をしたい方

参加費：1,000円程度

三瓶山火入れボランティア

雨天の場合、3月23日（木）、24日（金）、28日（火）、29日（水）に順延

ところ：島根県大田市三瓶町池田三瓶山西の原
（集合は西の原園地駐車場）

内容：火入れ対策本部の指示に従い、8班で組織される各班に、ボランティア、農家を配置し、市職員、森林組合職員などとの連携を保ちながら、消火活動（人数多数の場合は西の原放牧地の牧柵修理）を行う。

募集対象：18歳以上の男女、約40名（過去のボランティア経験者、および講演会出席者を優先、また当会の指示に従える方に限ります）

準備品：軍手、帽子、長靴、手ぬぐい、鎌（または、草刈り機）、レンチ（19ミリ）、昼食（弁当を斡旋します。また、レストハウスでの食事も可）衣類は綿製品に限る。

申込み方法、申込み先および募集期間

葉書または FAX で「紙芝居作り・フォーラム・火入れボランティア参加の別（火入れの希望者に限り、順延した場合の参加日記入）および、氏名、住所、性別、年齢、電話、FAX 番号をご記入の上、下記までお送り下さい（電話での受付はいたしておりません）。
〒694-8790 島根県大田市大田町大田八119
緑と水の連絡会議 代表高橋泰子
Fax 08548-2-2727

募集期間は3月1日（水）～3月17日（金）

- ・火入れの保険料は当方が負担します。
- ・グループ参加の場合は、代表者が名簿作成して提出して下さい。申し込みの方には折り返し資料を郵送致します。
- ・火入れは悪天候の場合、中止することがあります。ご了解下さい。
- ・悪天候の場合、火入れ中止の決定は、前日の夕方までに行います。参加予定者には電話連絡いたしますが、問い合わせ先（緑と水の連絡会議事務局（TEL / FAX 08548-2-2727）または、大田市役所農林課畜産係（TEL / FAX 08548-2-1600・内線233番）へご確認ください。
- ・火入れ参加者には国民宿舎『さんべ荘』（大田市三瓶町志学2072 / TEL08548-3-2011 / FAX08548-3-3151）の入湯券を差しあげます。
- ・遠方の方で宿泊ご希望の方のために三瓶の宿のパンフレットを同封しております。（宿泊料 1泊2食 通常7600円＋消費税）
- ・火入れやその他の情報はホームページでもご覧になれます。

<http://www.iwami.or.jp/ohgreen/index.html>

主催：（財）イオングループ環境財団、里地ネットワーク、緑と水の連絡会議

後援：大田市（予定）、三瓶牧野委員会、大田市保養施設管理公社

イベント・セミナーご案内

グリーンセイバー検定のセミナー

98年度からはじまったグリーンセイバー検定制度。専門家としてではなく、ゼネラリストとして生活者の立場からの植物や自然環境に関する科学的知識に基づいた21世紀に向けての生活のあり方を模索改善する人材育成を図っていくための制度です。マスター（自然を守るための具体的方法を学ぶ／自然と人との調和ある共存のために何をすべきか）・アドバンス（生物多様性の観点から自然野より深い理解を目指す／自然と人との関わり）・ベイシック（自然の基本的な仕組みを理解する／自然と人との関わり）の3コースがあります。

この2000年度の検定試験日が6月4日（日）に決まりました（マスターのみ11月にも開催）。今回はこの検定のためのセミナー日程の案内です。

日時／場所：

・ベイシック

- 4月8、9日（土・日）
／代々木オリンピックセンター（東京）
- 4月15、16日（土・日）
／コミュニティプラザ大阪（大阪）
- 4月29、30日（土・日）
／代々木オリンピックセンター

・アドバンス

- 3月18、19日（土・日）
／コミュニティプラザ大阪
- 5月13、14日（土・日）
／代々木オリンピックセンター

・マスター

- 3月4、5日（土・日）
／代々木オリンピックセンター
- 10月日程未定
／場所未定

問い合わせ・申込：環境NPO聚事務局

東京：TEL03-5485-6767 / FAX03-5485-6654

大阪：TEL0720-93-1716 / FAX0720-92-3247

里山ワーキング

左記で紹介しましたグリーンセイバー認定制度を行っている環境NPO聚が開催している里山活動です。定期的に行っている活動で、今回は萌芽更新のための樹木の伐採を行います。

日時：2月6日（日）

場所：東京都町田市（最寄り駅は小田急鶴川駅）

問い合わせ・申込：上記環境NPO聚東京事務局

———里山倶楽部主催イベント———

以下は大阪の里山倶楽部主催のイベントです。特に表記がないもので、里山倶楽部非会員は年会費3,000円（平成12年度）もしくは、300円／月が別途必要です。

河内百姓小学校生徒募集

久門式有機農法で米や野菜づくりを年間通してチャレンジしてみませんか？1999年は赤じゃが芋、里芋、トマト、ナス、キュウリ、ピーマン、カボチャ等の野菜と米を作っています。

日時：毎月第2土曜日と第4日曜日の午後

場所：大阪府河南町「河内かぼちゃの家」

募集人数：10名

参加費：4回まで3,000円 / 1回、5回以降1,000円 / 1回

問い合わせ・申込：河内かぼちゃの家

TEL0721-93-2845

里山フリースクール1・2

1) 「自然」って何なの？

なぜ、森の手入れをするの？といった疑問を、木や草花に、風土にそこに住む人々から学び、考え、「教えてもらう」のではなく、「共に学ぶ」なかで様々な疑問を解いて、21世紀を生きる知恵を身につけ、共に育ち合う「ところ」です。

2) 木って何を考えているんやろ？

自然環境や里山の保全って何？

下草刈、伐採、玉切り、植林といった山の作業をする中で自然とは何なのか、環境とは何なのか、人との関わりの深い里山とは何なのか、を考え、自然環境や里山の保全のあり方を学びます。

日時：2000年4月～2001年3月の原則として第1日曜日

場所：河南町持山の里山

対象：18歳以上

参加費：1は29,000円 / 2は30,000円

定員：10名

問い合わせ・申込：大塚憲昭

TEL06-6889-6038 / FAX06-6889-6039

自由参加型山仕事基礎講座

『どんび倶楽部』

初春の炭焼き、夏の下草刈り、秋冬は木を伐り、冬の終わりにどんび(どんぐり)の植え付け。一年を通して木の世話をし、フィナーレには炭を焼きます。日

時：毎月原則第一日曜日

場所：河南町持尾

参加費：無料(昼食付・里山倶楽部非会員300円)

問い合わせ・申込：渡辺博美

TEL / FAX0729-86-3297

辻谷森林ゼミ

奈良県川上村で50年間にわたり山仕事を行ってきた辻谷さんがこれまでに植えた木は200万本にものぼります。辻谷森林ゼミでは、人工林の年間作業を毎月一回実体験。作業は限りなく本物の林業に近い質を目指

しています。

日時：2000年4月～2001年3月の原則として毎月第一日曜日

場所：基本的に河南町と奈良県内の林業地

参加費：継続者26,000円 / 新規加入者36,000円

問い合わせ・申込：井上学

TEL / FAX075-703-6904

ファシリテーター養成講座

「ぴ・ぴ・ぴ・らぼ」

人と人、人と自然との関係をオモシロクする！そんなファシリテーターになりたい人のために3つのP(プランニング・プレゼンテーション・プロセス)を体験学習する一年間のベイシックコースと、更に学びたい人の半期のコースがあります。講師はマザーアースエデュケーション主宰の松木正さんです。

・ベイシックコース

日時：年12回(各月一回) 18:30～20:30

場所：大阪南Y M C A

参加費：22,000円

定員：24名

・アドバンスコース

日時：1期(4～7月)・2期(9～11月)ともに
半年8回19:00～21:00(内各2回は合宿形式)

場所：エール学園(大阪市浪速区)と河内かぼちゃの家(合宿)

参加費：各30,000円

定員：各12人程度

問い合わせ・申込：両コースともに檜本

TEL / FAX0721-29-5576

スウェットロτζジセレモニー

スウェットロτζジセレモニーとは、アメリカンインディアンに伝わる7つの儀式の一つで、身体・心・魂の浄化と統合の伝統的かつ神聖な儀式です。人とつながり、自然とつながり、自分と地球を癒すプログラムです。講師は松木正(マザーアースエデュケーション主宰)氏です。

日時：4月29日(土)～30日(日) / 9月16日(土)

～17日(日) / 11月18日(土)～19日(日) / 2001年
2月17日(土)～18日(日)
場所：河内かぼちやの家(河南町)
参加費：15,000円
定員：10名
問い合わせ：水谷米博
TEL / FAX06-6390-8496

無農薬有機栽培の米づくり タントンハン

素人がやるには手に余る広さである7反の田んぼで
地元の農業家の方に講師となってもらい米づくりを行
います。トラクター、田植機、バインダー、ハーベス
ターを使います。
日時：原則として土・日曜日
場所：河南町周辺の田んぼ
問い合わせ・申込：井上晃一
TEL / FAX0726-33-2035

炭焼き

40年前まで使われていた炭窯を再現しました。焚き
口とは別に、炭や立木を出し入れする口が横に設けら
れているのが特徴です。黒炭450kg位とれます。
日時：炭焼き3月5、12、19、26日、4月2、9日(全
て日曜日)
炭窯づくり2月12日(土)～13日(日)、19日(土)
～20日(日)
問い合わせ・申込：大亦義朗
TEL / FAX0721-63-3647

森のキッチン

持尾の山の手入れ作業でできた薪を集めて火を焚い
て、野草や木の実、季節の恵みをいただいたり、ツル
や木枝を使ったクラフトも行います。
場所：河南町持尾
参加費：実費(里山倶楽部非会員500円増)
問い合わせ・申込：山本

TEL / FAX06-6354-3167

おはまこはま

手間と暇をかけた生活の知恵を伝統文化から学びま
す。
場所：南河内郡千早赤阪村・河南町
参加費：実費(里山倶楽部非会員500円増)
問い合わせ・申込：阪井順子
TEL / FAX0721-74-0800

——以上里山倶楽部イベント——

～ボランティアとNPOがつくる～ めっせTOKYO2000 ～市民がひらく新世紀～

市民主体の社会づくりのためには市民一人ひとりの
参画が必要であり、そのための研究協議や情報交換の
場が必要です。今回は、大都市・東京におけるさまざ
まな課題発見や社会提言の場としてまた市民やボラン
ティア・市民活動関係者の交流の場としての「めっせ
・TOKYO・2000」を開催します。

NPOのマネジメントや暮らし、子どもからお年
寄りに関する問題等の様々な課題を参加者がそれぞ
れのテーマに基づき共有し、解決の糸口を探り、今後の
ボランティア活動・市民活動のあり方を協議します。

主催：東京ボランティア・市民活動センター

日時：2月18日(金)～20日(日)

場所：飯田橋セントラルプラザ

(新宿区神楽河岸1-1・JR・地下鉄飯田橋駅1分)

参加費：1000円 すべてのプログラムに参加できます

(交流パーティは別途500円)

問い合わせ・申込

東京ボランティア・市民活動センター

TEL03-3235-1171 / FAX03-3235-0050

<http://www.fvac.or.jp/>

E-mail: center@tvac.or.jp

エコのもりセミナー

トヨタ自動車(株)と(社)環境教育フォーラムが主催し、森林保全活動や人材育成を軸に、森と楽しむプログラム、ノウハウを学ぶキャンプなど、幅広い層の参加を期待して1998年から3年間開催しているセミナーです。「里山インタープリターズキャンプ」「森遊び倶楽部」「森づくりミーティングフェスタ」のプログラムがそれぞれ、年間3・6・1回と開催されます。開催場所は基本的に愛知県豊田市岩倉町のフォレストヒルズ・モデル林及びその周辺です。

5月までの日程は以下の通りです。

1月23日(日)

第8回森遊び倶楽部「森の風と遊ぼう」

2月25(金)～27(日)日

第5回里山インタープリターズキャンプ
「フクロウのための森づくり」

3月12日(日)

第9回森遊び倶楽部「森の遊び場づくり(仮)」

5月19(金)～21(日)日

第6回里山インタープリターズキャンプ
「動物にとっての森って(仮)」

申込み、詳細問い合わせ

エコのもりセミナー事務局

TEL03-3475-7738 / FAX03-3475-7735

<http://www.digitalium.co.jp/economori/>

日中友好・植樹祭と 植樹ボランティアツアー

(財)イオングループ環境財団では、昨年に引き続き、「万里の長城・森の再生プロジェクト植樹祭」を北京市人民政府と協力して開催します。このプロジェクトは今年で3回目となり、大きな特徴の一つとして、日中両国からの多数のボランティアの参加があります。日時は5月4日(木)です。

また、今年も日本から1,000名の参加を募り植樹ボランティアツアーを開催する予定です。コースは「基本コース(3～4日)」「人気都市周遊コース(5～7日)」「郷愁の東北部コース(7日)」他があります。

ともに募集締切は3月10日(金)となっています。

申込み、詳細問い合わせ

(財)イオングループ環境財団事務局

TEL043-212-6022 / FAX043-212-6815

新潟で始める豊かな暮らし ～新・田舎人

首都圏で新潟へのIターン・Uターン情報を提供している「表参道・新潟館ネスパス」。今回行われる定住フェアは「農業」がテーマです。新潟に移り住んで農業・耕作をしたい首都圏在住の人を対象に情報提供を行っています。経験者からのアドバイスや定住講座、市町村ブースや会社説明・面接なども開催します。

主催:(財)ニューにいがた振興機構・(社)新潟県農林公社

日時:2月19(土)～20(日)日

場所:表参道・新潟館ネスパス

(渋谷区神宮前4-11-7)

TEL03-5771-7711 / FAX03-5771-7712